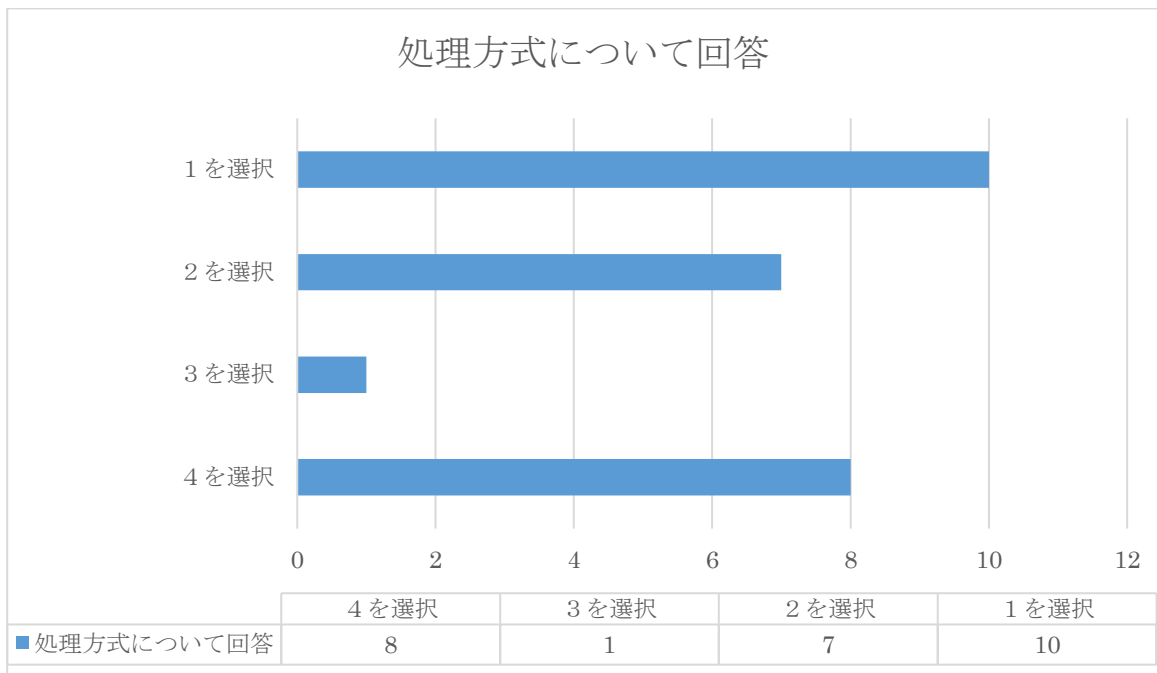


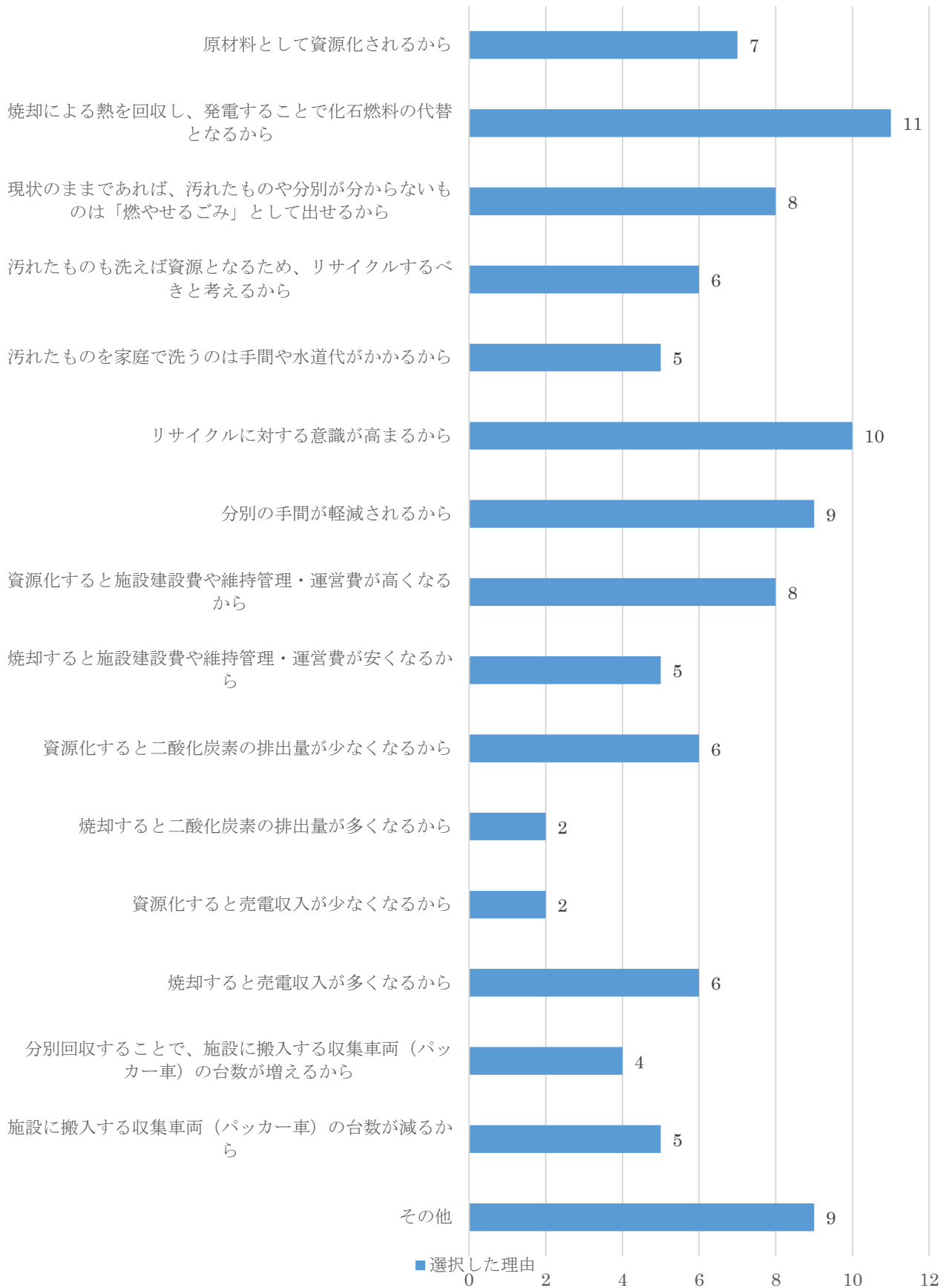
新ごみ処理施設における容器包装プラスチックの取り扱いに関する意向調査結果

1. 新ごみ処理施設における容器包装プラスチックの処理方法についてあなたのお考えに○を付けてください。
- 1：現在のままで良いと思う。(汚れた容器包装プラスチックは焼却)
 - 2：汚れた容器包装プラスチックは、家庭で汚れを落としてから施設で圧縮・梱包する。
 - 3：汚れた容器包装プラスチックは、施設で水洗後、圧縮・梱包する。
 - 4：焼却する。



2. なぜ上記を選択されましたか。
該当するものに○を付けてください。(複数回答可能)
- 1：原材料として資源化されるから
 - 2：焼却による熱を回収し、発電することで化石燃料の代替となるから
 - 3：現状のままであれば、汚れたものや分別が分からないものは「燃やせるごみ」として出せるから
 - 4：汚れたものも洗えば資源となるため、リサイクルするべきと考えるから
 - 5：汚れたものを家庭で洗うのは手間や水道代がかかるから
 - 6：リサイクルに対する意識が高まるから
 - 7：分別の手間が軽減されるから
 - 8：資源化すると施設建設費や維持管理・運営費が高くなるから
 - 9：焼却すると施設建設費や維持管理・運営費が安くなるから
 - 10：資源化すると二酸化炭素の排出量が少なくなるから
 - 11：焼却すると二酸化炭素の排出量が多くなるから
 - 12：資源化すると売電収入が少なくなるから
 - 13：焼却すると売電収入が多くなるから
 - 14：分別回収することで、施設に搬入する収集車両（パッカー車）の台数が増えるから
 - 15：施設に搬入する収集車両（パッカー車）の台数が減るから
 - 16：その他

選択した理由



3. 2の質問で回答した「その他」の内容及び意見

【1. 現状のままで良いと思う】

- ・リサイクルの意識は大切なので、現状のままの取扱いとし、他町においてこれまでより手間はかかるが、環境に対する意識の向上を図ってもらう。
- ・汚れたプラスチックは洗って資源化することが理想的ではあるが、分別されず、すべて燃えるごみとする家庭もあるので、洗わずだされると施設側の負担になる恐れがある。

【2. 汚れた容器包装プラスチックは、家庭で汚れを落としてから施設で圧縮・梱包する】

- ・資源化することが、何よりも環境に負荷を与えないことになる。
- ・焼却は行政が把握していない化学物質を微量でも燃やすことになるため、極力避けることが望ましいと考える。
- ・新ごみ処理施設の技術の向上とリサイクル意識が高まるよう PR するべき。
- ・あまりにもひどい油汚れのあるプラスチックについては、水洗いによる水への負荷がかかるため、焼却してもよいと思う。
- ・大多数の容器包装プラスチックは、汚れも少なく家庭で処理して分別することが十分可能である。

【3. 汚れた容器包装プラスチックは、施設で水洗後、圧縮・梱包する】

- ・世界で温室効果ガス排出削減に向けて取り組んでいる中、焼却すると CO2 排出量が増えるため、焼却処理は最小限にするべきである。
- ・焼却することは、SDGs の「気候変動に具体的な対策を」という目標に相反する。

【4. 焼却する】

- ・再生利用率、資源化量が年度目標に届いていないため。
- ・容器包装プラスチックの総重量が燃えるごみと比較して少ないため。ただし、各家庭で圧縮を徹底して体積を減らし、収集効率を上げる必要がある。
- ・複数の分別種類があることや汚れの有無により処分が異なることから、すべて焼却処理をすることが適当である。
- ・わかりやすい表示や扱い方が提示できれば資源として扱えるのではないかと思う。
- ・環境負荷を軽減するために高効率となる取扱いは、焼却することが適当であると考え。しかし、何でも燃やせばよいという短絡的な考えにならないよう、新施設の機能やその他の取組みにおける環境負荷軽減への努力を、住民に正しく理解・認識していただくよう啓発することが重要である。